

2024年12月20日

各位

会社名 ファーストブラザーズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 吉原 知紀  
(コード番号:3454 東証スタンダード)  
問合せ先 経営企画部長 川村 俊之  
(TEL. 03-5219-5370)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、直近の業績の動向等を踏まえ、2024年1月12日に公表した2024年11月期の業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

取引所の定める規則では通常、売上高については10%以上の差異、各段階利益については30%以上の差異が見込まれる場合が開示基準として定められております。また、レンジ形式での業績予想を行っている場合におきましては上限・下限数値の両方が開示基準額となります。当社は2024年11月期の通期連結業績予想をレンジ形式で発表しており、今回修正予想は売上高については上限レンジから10%以上下回った一方で各段階利益額については下限レンジを30%以上上回り、開示基準に抵触することからお知らせするものです。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想数値の修正 (2023年12月1日～2024年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,700 ～17,500	3,100 ～2,100	2,200 ～1,200	1,370 ～720	97.69 ～51.34
今回修正予想 (B)	16,890	2,830	2,180	1,350	96.27
増減額 (B - A)	△4,810 ～△610	△270 ～730	△20 ～980	△20 ～630	-
増減率 (%)	△22.2 ～△3.5	△8.7 ～34.8	△0.9 ～81.7	△1.5 ～87.5	-
(参考) 前期実績 (2023年11月期)	22,268	4,461	3,837	3,186	227.26

## 2. 修正の理由

当社グループの業績は現状、不動産売却益に大きく左右されることから、期によって業績の変動が大きいという特徴があります。2024年11月期につきましては、国内外の金利動向をはじめとする経済情勢が大きく変化する中で、慎重な投資判断を行いました。また、当初計画においても物件の取得及び売却については、控えめに見込んでおりました。その結果、売上高は物件売却を慎重に行ったことにより前回業績予想に対しても減少した一方、各段階利益については物件売却の利益率上昇、賃貸収益の向上と経費の削減等により業績予想レンジの上限には届かないものの、下限レンジを大きく上回る見込みとなりました。

これは具体的には以下の要因によるものです。

- ①売却する物件を慎重に検討した結果、予想比で利益率が高くなりました。
- ②保有資産の価値向上施策を継続的に実施した結果、賃貸収益が予想比で増加しました。
- ③販売管理費のコントロールにより、予想比で費用を圧縮しました。
- ④金利上昇幅が当初想定を下回り、営業外費用が想定を下回りました。

これらの結果、現在取りまとめ中の2024年11月期決算は、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益において、前回発表予想値の下限レンジを上回る見通しとなりました。

※上記の業績予想数値につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上